

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第42号

二大事業を審議する56年度総会開催

●活路開拓調査事業とは何か●

人材養成最後の行事・技術講習会開く

86%が下請零細企業 (工業技術センターの
実態調査)

塩ビ樹脂の不況カルテル認可される

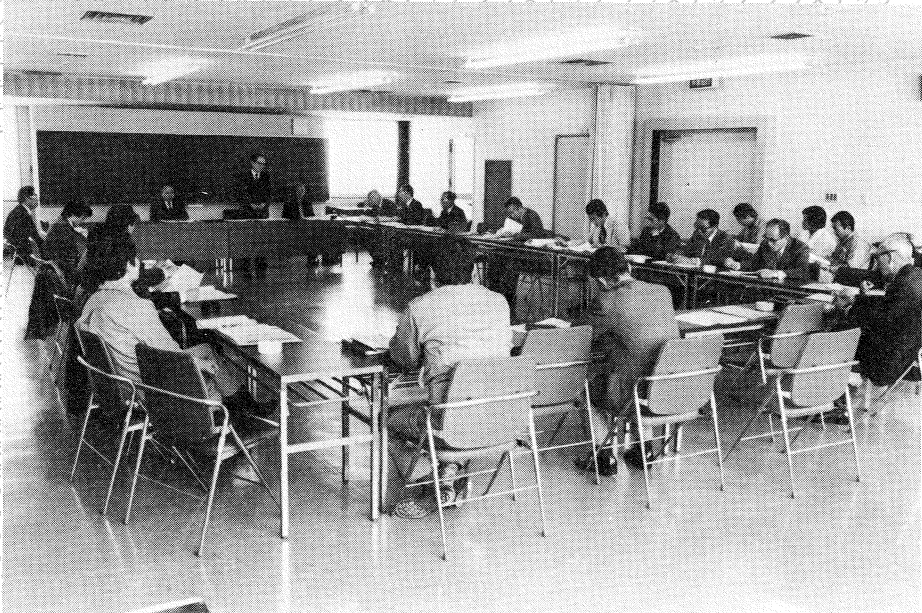
名古屋で生活用品見本市開催

全国業界のニュース・デザインのすすめ

組合員の工場訪問 (岩田プラスチック工業)

事務局だより

技術講習会を開き、全員で業界の現状を話合う



活路開拓調査事業の推進

二大事業を審議する今年度総会

57年秋めざし見本市の開催準備

岐阜県プラスチック工業組合は5月19日、午前11時から、岐阜市六条南の岐阜産業会館5階会議室で『第13回通常総会』と『県プラスチックデザイン協会第19回通常総会』を開催する。議題は①55年度事業報告②同決算報告③56年度事業計画④同収支予算⑤役員定数の変更と役員改選一などであるが、今年度総会とはくに国、県の助成と中央会の指導を得て実施する『活路開拓調査指導事業』が内定したため、実施について審議する。

この活路開拓調査事業は業界や企業を取り巻く環境の変化に対応し、新たな活路を見い出そうという調査と指導を行う事業である。したがって本申請にあたって総会の同意を得るもので、これを機会に『岐阜県のプラスチック業界はこれからどうしたらよいか』をテーマにディスカッションを行い、活路開拓事業や理事会が計画を練っている57年プラスチック見本市開催など業界の振興策について、会員相互の意見交換を図る。

活路は5組合の1つとして内定

56年度総会の重要議題として提出する『活路開拓調査指導事業』は、さる1月開いた理事会で指定を受けることを決め、大松理事長はじめ役員が全力あげて関係機関へ要望してきた。その熱意が実り、このほど中央会から56年度事業対象組合の一つ（ほかに既製服、砕石、砂利、陶磁器原料）として内示があったもの。

この事業指定を受け、活路開拓調査事業に取り組む方針を決めたのは、あいついだオイルショックから原材料が高騰に高騰を続け、一方では、加工製品の安値、一般消費の低迷と在庫調整の手間どりなど業界を取り巻く環境は厳しいものがあるからだ。毎月開く理事会で検討されてきたことは、プラスチック加工産業が岐阜県

下の七大産業の一つとして産地形態を保っているために、強力な振興対策を打ち出すことであった。

産地振興の重点は活路と見本市

振興対策の具体的事業は、第1が内定した活路開拓事業を受入れ、実施に移すこと。内容は①県内実態調査と地域懇談会の開催②県内外の新技術動向調査③国内産地の実情調査④海外情報の収集と分析⑤業界ビジョンの作成一などの調査指導事業である。第2はこうした事業を足がかりに業界の総意を盛りあげ、できれば57年秋にプラスチック産業見本市を開催することである。

見本市は昭和42年第6回くらい開催が途絶えていたもので、もし実現することができれば

15年ぶり、しかも工組へ改組して最初の産業見本市となる。それだけに組合員はもとより県内業者の総参加による宣伝、PRなど準備が重要とされる。すでに理事会では『振興対策は県内業者がどうして“儲けるか”ということで、見本市は即効性はないが、産地将来の新しい布石になる』『東西の関連企業や問屋を招待して販路の開拓が図れる』『産地イメージのアップによって受注量の拡大を図ることができる』『産業界の組織強化や組合員の団結強化、組合事業の活性化に直接結びつけることができる』などの積極賛成意見が出ており、この総会の同意を得たあと具体的は見本市開催計画の策定に入る方針を立てている。

新しい試み『ディスカッション』

このように56年度総会は、工組創立いらいの大きかりな二大事業について審議を行う大切な会議となる。とくに新しい試みとして『岐阜県のプラスチック業界はこれからどうしたらよいか』をテーマにディスカッションを展開するのは、組合執行部が組合員のニーズをつかむと同時に二大事業に対する理解を呼びかけ、組合員の総意の盛り上げを図るものである。

なお、議案にある定款変更『役員定数の変更』は、組合事業の増大にあたって役員陣を強化するもので、現行の理事定数10人を増員する。したがって第4号議案の『役員改選』は、理事10人以上と監事2人の選挙を行う。

活路開拓事業とは

国県の補助で中央会が実施
15業界が行い成果をあげる

『活路開拓調査指導事業』とは、組合の組織化と指導団体である岐阜県中小企業団体中央会が国と県の補助を得て実施する単年度事業。事業開始は53年度、最初は陶磁器など5業界、54年度も既製服など5業界、さらに55年度も木材、寒天、鋳物、家具、米菓の5業界が指定を受け、実施、成果を得た。

指定を受けた合計15業界は350万円の補助金を得て、最低360万円から最高716万円の事業予算を組んで目的の調査を行った。中央会では『業界が生き抜く新たな活路を見い出せるばかりか、事業実施によって組合組織の活性化が図れる。このため実施希望組合は数多く、56年度は選定に苦労したが、希望11組合の中からプラスチック業界を内定した』と話している。



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



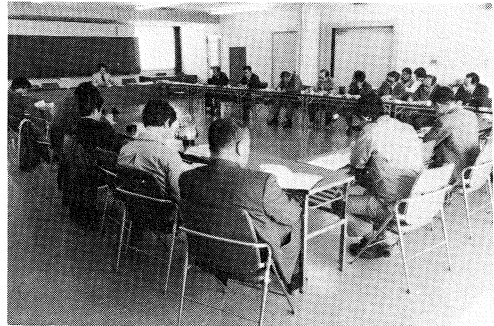
人材養成事業 最後の行事 技術講習会 話し合う

当工業組合は、中央会人材養成事業の最後の行事として、2月27日午後、県工業技術センターで技術講習会を開いた。テーマは『県内プラスチック業界の現状』で、非会員9人を含む30人の参加があった。

講師は関谷裕彦氏（県工業技術センター高分子科長）と田中弘一氏（工組副理事長、県技術アドバイザー）で、工業技術センターのデータをもとに県内の状況やこれからのプラスチック業界のあり方についてディスカッションをした。なお、ディスカッションに先だって関谷講師は業界の見通しを次のように説明した。

業界に必要な個人技術の確立

『第2次オイルショックに伴い、エネルギーや各種の原材料が高騰、経営面では非常に厳しい状況に追い込まれている。その反面、親企業は、社会的責任と経営の安定に自助努力をはか



り、積極的に技術力をつけ、下請企業に対して徐々に反映されつつある。一方、下請企業においても、いままであまり重要視されなかった技術について必要性を感じ、模索している現状である。技術センターが県内プラスチック成形加工業者を対象に実施した実態調査では、多くの経営者が「個人技術の確立が第一」としておりこれを契機に企業が技術努力と取り組めば、業界全体のレベルアップは期待できる』

（写真は人材養成事業最後の講習会）

86%が下請零細企業

技術センターが実態調査

岐阜県工業技術センターがこのほどまとめた実態調査によると、岐阜県下のプラスチック成形加工業の企業規模は、従業員9人以下の零細企業が86%で、年間出荷額1億円以下が82%を占め、ほとんどが二次、三次の下請加工業とわかった。これらの企業は賃加工ばかりで、個々の技術を持っていないばかりか、技術開発能力にとぼしい企業体質である。

主要製品は日用雑貨、自動車部品、家電部品その他にわかれ、大半は親企業から金型、材料ともに発注されたものである。

射出成形機は全般的に自動化された成形機の導入がめだち、付帯装置として合理化機器を装着している。何らかの省力機械を設置した企業は全体の3.2%を占めている。

技術開発と実施中の企業はわずか9%。その目的は加工技術に伴う製品開発が34%もあった。なかには金型技術工程に独自のノウハウを持っている企業があった。

製品デザインの開発については、開発中の企業は7%と低く、全体的に技術者が少なく、技術開発を行う企業体制が整っていないようだ。

従業員構成は、86%のうち69%が4人以下、17%が5-9人である。ほかにパートの高年齢者を採用する企業がめだっている。

不況カルテル認可 塩ビ樹脂 5-8月まで

公正取引委員会は、塩化ビニール樹脂業界から出ていた不況カルテルを5月1日付で申請どおり認可した。塩ビ生産の不況カルテルは呉羽化学工業など全国20社が申請していたもので、その内容は①5月1日から8月31日までの4カ月間の生産量を36万トン(月平均9万トン)に制限する②各社別の生産

数量はこれまでの実績にもとづいて割り当てる③生産制限数量を超える余剰設備は封印するというものである。

この結果、不況カルテル実施中の月平均減産率は、ことしの1-3月の生産量に比べて14.3%となり、能力比では43%の減産率となる。したがって4月末の時点で13万5,400トンあったメーカー在庫を9万9,400トン(1.4カ月分の出荷量)に減らすことをめざす。

生活用品がずらり 名古屋で見本市開く

生活用品振興センターは、さる2月24日から2日間、名古屋駅前の愛知県中小企業センターの展示場で『全国生活用品見本市・名古屋'81』を開いた。当工組の大松理事長は生活用品振興センターの副理事長でもあることから、初日の朝、田中名古屋通産局商工部長とともにテープカットした。

会場には東海地方の中小公社、メーカーをはじめ全国各地から95社が参加、生活用品、事務用品、室内・室外装飾用品、スポーツ用品、

レジャー用品、ギフト用品などざっと1万点を出品した。

岐阜県内業者は8社で、一般的に陶磁器が多かった。しかし、会場全体ではプラスチック関係商品も多くみられた。なお、会場へは東西の間屋、量販店、国内商社、貿易商社など流通関係者が訪ずれ、商談がはずんだ。

.....

印紙税の額が5月から2倍になる

印紙税の額が5月1日からの2倍引き上げられた。契約書の場合100万円以下には最低税額は100円から200円にアップ、100万円から200万円までは400円となった。



生活用品見本市でテープカットする大松理事長



プラスチック製品がかなりめだった同見本市

全国業界ニュース

◎英国でエンジン部品を樹脂化◎

英国ファイバーグラス社、BTRパーメイルRP社、英国フォード・モーター社の3社は、新タイプのプラスチック材料と成形技術をもとに、プラスチック製の自動車エンジン部品の実用化に乗り出した。自動車の軽量化による燃料効率の改善を図るため、プラスチック部品の進出はめざましいが、エンジン構成部分だけは厳しい条件にさらされるため使用は進んでいない。このため各国では自動車エンジン部材のプラスチック化技術が一つの焦点となっている。

実用化めざす部分は、エンジンの吸入マニホールド部分。重量は約1.2キログラム。金属製マニホールドに比べ25%軽量化されるという。なお、材料はポリエステル・コンパウンド。

◎ナイロン11将来名古屋で生産◎

東レはフランスの総合化学メーカーであるアトー・シミー社と提携、アトーからナイロン11、ナイロン12の成形用ペレット（粒状の樹脂）を輸入販売する。また、近い将来、アトー社と合弁会社を設立、東レ名古屋事業場でこのペレットの国産化に踏み切る方針である。

東レが輸入するのは主としてナイロン11でアトー社は世界で唯一のメーカー。現在、ナイ

ロン11は、わが国で年間約600トン、10億円弱販売されているが、東レは3年目にこの販売量を倍増する計画である。

◎塗装ができるポリプロピレン◎

チッソは業界で初めて塗装のできるポリプロピレン（オレブライト）の開発に成功した。ポリプロピレンと塗料が付着しやすい物質を共重合させているのが新グレードの特色。このためカラー塗装もできるという。すでに化粧品のカップに使われており、アルミ塗料を蒸着することで高級イメージを与えることに成功した。

◎55年の樹脂生産は8.4%減◎

昭和55年のわが国プラスチック材料の生産は752万トン、プラスチック製品は393万トンとなった。プラスチック材料の前年比は8.4%の減少。これは年初高水準でスタートしたが、年央より生産が低下したためである。

樹脂別では熱硬化性樹脂は横ばい。熱可塑性樹脂は655万トンで、前年比10.1%減となりとくに大型プラスチックのポリエチレン、ポリプロピレン、塩化ビニール樹脂が、前年の10%前後も下回ったためである。

プラスチック製品は前年比5.2%の減少。品目別では包装フィルム、パイプ、容器、日用品、



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

全国業界ニュース

雑貨は減少、機械器具部品、合成皮革などは前
年を大幅に上回った。

■昭和55年のプラスチック材料および製品生産実績
(単位：t)

種 類	昭和55年	昭和54年	伸び率 (%)
フェノール樹脂	303,719	300,381	1.1
ユリア樹脂	569,628	598,568	△4.8
メラミン樹脂	143,586	135,187	6.2
不飽和ポリエステル樹脂	184,551	204,248	△9.4
アルキド樹脂	134,040	140,925	△4.9
エポキシ樹脂	59,363	56,053	5.9
けい素樹脂	38,856	33,678	15.4
ウレタンフォーム	199,427	190,844	4.5
熱硬化性樹脂計	1,633,170	1,659,884	△1.6
ポリエチレン計 (低密度)	1,860,198	2,165,308	△14.1
(高密度)	1,179,274	1,368,339	△13.8
ポリスチレン計 (GP・HI)	680,924	796,969	△14.6
(F S)	1,128,773	1,226,930	△8.0
(A S)	646,078	694,170	△6.9
(ABS)	145,029	150,877	△3.9
ポリプロピレン	77,356	89,614	△13.7
ポリブテン	260,310	292,269	△10.9
石油樹脂	927,170	1,022,717	△9.3
塩化ビニル樹脂	26,535	28,847	△8.0
ポリビニルアルコール	74,697	77,693	△3.9
塩化ビニルデン樹脂	1,429,768	1,592,129	△10.2
メタクリル樹脂	100,593	112,843	△10.9
ポリアミド	34,944	32,349	8.0
ポリカーボネート	104,112	108,325	△3.9
ふっ素樹脂	67,939	67,541	0.6
その他熱可塑性樹脂	32,642	30,340	7.6
熱可塑性樹脂計	4,552	3,983	14.3
	92,970	80,574	15.4
	5,884,893	6,549,579	△10.1
合 計	7,518,063	8,209,463	△8.4

品 目	昭和55年	昭和54年	伸び率 (%)
フィルム計	973,019	1,033,272	△5.8
軟質製品計	953,678	989,465	△3.6
農業用	161,012	144,634	11.3
包装用	525,608	586,594	△10.4
ラミネート	95,224	106,042	△10.3
その他	153,834	152,195	1.1
硬質製品計	37,341	43,807	△14.8
シート	240,739	251,748	△4.4
板計	129,170	146,664	△11.9
平板	76,101	84,870	△10.3
波板	53,069	61,794	△14.1
合成皮革	164,690	162,145	1.6
パイプ	431,400	527,562	△18.2
継手	42,226	45,144	△6.5
機械器具部品	519,815	489,167	6.3
日用品・雑貨	250,836	270,429	△7.2
容器	161,186	187,028	△13.8
中空成形容器	92,572	95,973	△3.5
その他	68,614	91,055	△24.5
建材計	316,070	318,911	△0.9
雨どい・付属品	49,007	52,825	△7.2
床材	226,540	218,555	3.6
その他	40,523	47,531	△14.7
発泡製品計	243,338	237,436	2.5
板物	74,728	74,197	0.7
型物	70,503	67,813	4.0
その他	98,107	95,426	2.8
強化製品計	98,574	98,575	0.0
板物	23,670	22,510	5.2
型物	48,991	45,428	7.8
その他	25,913	30,637	△15.4
その他計	358,226	376,227	△4.8
ホー	43,979	53,227	△17.4
照明用品	3,414	3,384	0.9
レコード	12,723	12,905	△1.4
その他	298,110	306,711	△2.8
合 計	3,929,289	4,144,308	△5.2



東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

デザインのすすめ
岐阜県プラスチックデザイン協会

デザインの力

デザインという言葉が重要視されている今日人々はデザインに何を期待しているのか。

もう一度デザインという言葉の原点にもどり考える必要があるのではなからうか。

近代デザイン思想の原点は「バウハウス」「ドイツ工作連盟」にあり「製品の良質化」という言葉に示されるように、「製品をデザインする」ということは「良質化する」ということと同じ意味であった。

いいかえれば、機械産業から生みだされる製品を、美的、社会的、経済的、倫理的見地から「良質化すること」、「統合された質に高めること」、それが製品開発に要請された新たな「デザイン」という行為であった。したがって今日一般的に受けとめられているように「デザイン」は単に「付加価値」を生み出すものではなく、発生的には「統合的価値」を創造する行為として誕生しているのだ。

こうした考え方は、世界中に大きな影響を与え、日本のデザイン思想の原点にもなっている

のだが、いまだ本質的には根をおろしていないようである。

そこで、これらのデザイン哲学を経営理念の中心にすえているブラウン社という一企業の「造形思想」をとらえ、デザインの力といったものを考えてみたい。

ブラウン社のデザインポリシーは、1973年京都における第8回世界インダストリアル・デザイン会議のさい明らかにしている。

「われわれが製作するものは、家事と趣味生活に役立つ工学的機器であり、その第一目標は持主のために一定の機能を果すことであり、使用者の身近な環境におかれたとき、はじめてその意味をもつというような道具であり、かつ使用者とその生活環境にとけむことである。人びとの家庭は欲求不満をまぎらわす舞台装置ではなく、簡素で、実用的で、しかも趣味があり快適でなければならない。われわれの製品は、内容も外観も、このような家庭にふさわしく正直なものではなければならない。」としており、ひかえめで、目立たないけれど必要な時にはより有効に働くものを、理想の製品としているのである。デザインの力というのは、今も変わらず真の生活道具を開発していくことにある。

(岐阜県工業技術センター工業デザイン室)

出光 の石油化学製品

◎取扱品目	中低圧ポリエチレン
ポリスチレン	ポリプロピレン
高圧ポリエチレン	カルブ®
	ポリカーボネート

出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎052-231-8611

オリジナル品の開発に全力

岩田プラスチック工業



岩田耕一社長 岐阜基地の西門にいたる

大きな町で、岩田プラスチックはその西門のすぐ前にある。

創業は昭和35年夏、先代の岩田精二氏が自宅（同市内楠町）を改造、友人らと手動式の成形機（0.5オンス）を買い入れてしょう油入れキャップやはかり部品をつくったのが始まり。翌年にはタテ型の射出成形機（2オンス）を3台入れ、大松さんと懇意だったことから岐阜プラスチック工業の下請加工となった。製品はスプーンやシュガーポットなど日用雑貨品など。とくにタテ型の特性を利用して、インサート成形に威力を発揮した。

7万個のポリバケツ生産記録

下請生産は順調に進み、41年には現在の三井町に約300平方メートルの工場用地を求めて移転した。ところが移転早々、精二氏が病床に就き、息子の耕一氏は大学半ばにして呼び戻され、後を継いだ。年齢は21歳。この業界では一番若い経営者となった。当時をふりかえって『高度成長に支えられ、うまく経営できた』

とけんそんするが、この時、経営の目標を『オリジナル商品の生産』においたという。

まず、取り組んだのはタテ形からヨコ形の大型新鋭機に切り替えること。最初は46年、岐阜プラの意向もあって30オンス成形機（写真）を入れ、8リットルポリバケツを量産した。バケツがブリキ製からプラスチックへと移り代わった時で、大いにうけ、24時間フル操業、月間7万個を生産した記録が残っている。

工業部品ウエートは60%へ

オイルショック後から待望のオリジナル製品がふえはじめ、生産品目は日用雑貨品から工業部品や弱電部品へと主力を移していった。53年3月にはタテ形を全面的に廃止し、35オン



スを筆頭に計5台の成形機を揃え、体制を整えた。そして現在、自動車や住宅部品などの工業部品が60%台所用品など日用品は40%となった。

苦節20余年、いま岩田さんは36歳。当工組が誇る若手経営者に成長した。抱負を聞くと『オリジナル商品の開発、生産はいまま大目標です。外注先とスタッフを大切にしながら新しい経営をしたい』と話している。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□二大事業決める総会にご出席を□

活路開拓と見本市開催という工組創立いらいの二大事業の実施を決める56年度総会が開かれます。また、新しい試みである『岐阜県下のプラスチック業界はこれからどうしたらよいか』をテーマにディスカッションも行います。末賓のご案内も例年より多く差し出しました。どうか組合員の方々、全員参加で業界の新方向を探ろうではありませんか。

この総会の詳細は7月号に掲載します。なお総会の記念品を全会員の方に準備しました。もし、当日ご欠席されましたら、後日、産業会館近くへ来られた際にお立ち寄り下さい。

□設備貸与や近代化資金は早めに□

本年度の『設備貸与制度』『単独設備貸与制度』および『設備近代化制度』の申請受付が始まりました。ご希望される方は早めに事務局へご連絡下さい。手続方法などについてお手伝いします。

設備貸与制度は自己資本の少ない中小企業者に代わって県の公社が購入し、割賦で譲渡を受ける制度で、貸付額は1企業20万円から1,5

00万円(貸付損料5%)です。単独設備貸与制度は設備貸与制度や設備近代化制度の対象とならない業種で、貸付金は1企業20万円から600万円(貸付損料6%)です。

また、設備近代化資金制度は、設備近代化に必要な資金のうち約半額を無利息で融資を受けられるもので、貸付金額は1企業20万円から1,200万円までです。

□技能検定の受験希望者は工組へ□

本年度の技術検定実施内容が決まりました。プラスチック成形の内、組合が担当するのは『射出成型作業』です。各企業の受験希望者は組合事務局へご連絡下さい。ことしの受験申請の受付は5月20日(土、正午)です。それまでに申請書を組合事務局へご持参下さい。なお、実技は7月中旬～下旬、学科は8月2日(日)です。

岐阜県のプラスチック 1981 42号

昭和56年5月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン **NOVATEC** 高圧ポリエチレン **NOVATEC-L**



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタクリルシート

スミペックス®

メタクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル
塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1581(代)



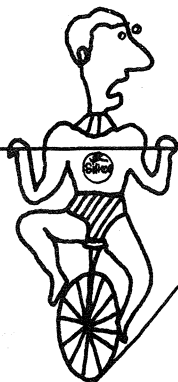
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、警察のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

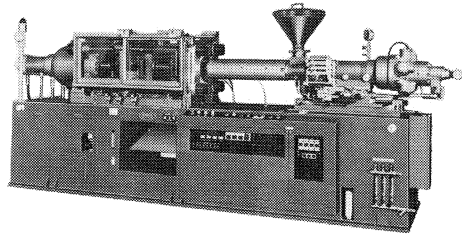


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野 岡坂 坂田 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
営業所・東京 ☎ (03) 357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
出張所・全国27ヶ所、海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1 (西ビル) ☎ (0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学品部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL-94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

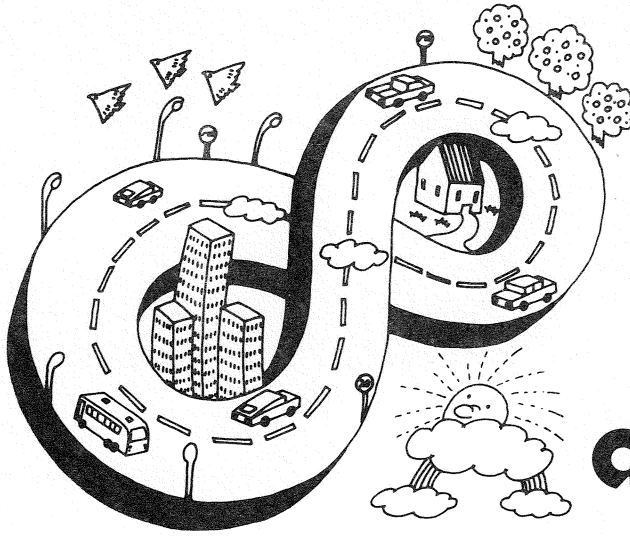
JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

永遠の素材

ゆたかな生活環境をフリエイト

パラグラス、いま20才。あらゆる生活空間に広がる限り
ない可能性、時代のニーズに応えいつまでも…



国産無公害エネルギー“天然ガス”を原料に求め、モノマーからポリマーまで、「高品質素材の総合開発」をすすめる協和ガス化学工業。世界の五指に数えられるメタクリル一貫生産メーカーとして、“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 / 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03) 277-3174
大阪事務所 ☎(06) 345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052) 951-6396
福岡営業所 ☎(092) 711-1530 / 仙台営業所 ☎(022) 66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

RISU
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮